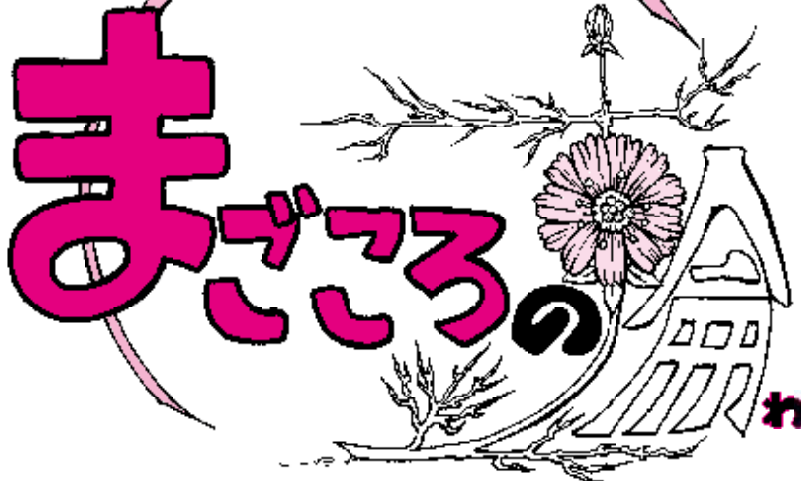




(1)

芝山町社協だより

'20年3月発行
Vol.109

習うから 振る舞うへ

「27人前」今回のおとこの料理教室で作る昼食数です。いつもは、自分たちの分だけを作るのですが、年度の締めくくりということで、ミニデイサービスの参加者にも料理を振る舞いました。いつもより多い食数をお昼までに仕上げねばというプレッシャーの中で料理をするのはやりがいたっぷり。

おとこの料理教室は年4回、町保健推進員を先生に、材料の切り方や量り方、包丁の持ち方などから学び、ほとんど台所に立ったことのない方から料理はお手の物という方まで、ご参加いただいております。

作るよろこび、食べる笑顔。おとこのみなさんいっしょに味わいませんか。

今号の特集

- 家庭・地域・学校で育む
福祉教育について
- 誰もが自分らしい生活を送るために
ノーマライゼーションという考え方

編集発行 社会福祉法人 芝山町社会福祉協議会 芝山町飯櫃 126 番地 1 TEL0479-78-0850

ホームページ : <http://www.shibayama-shakyo.jp> E-mail: info@shibayama-shakyo.jp

この広報紙は、共同募金の配分金によって発行されています



家庭・地域・学校で育む

これまで家庭・地域・学校の三者で、子どもの育ちを支えていました。

しかし、昨今その比重が学校に集中してきており、虐待やいじめ、不登校など学校教育だけではおさまりきれない問題が多発しています。そこで、地域や家庭と連携した福祉教育が求められるようになりました。

今回は1月31日に福祉センターやすらぎの里にて開催された令和元年度福祉教育全体勉強会の内容をふまえ、福祉教育について理解を深めていきたいと思います。

地域で子どもを育てるということ

以前から子育ては家庭や学校だけで行われていたわけではありません。地域でも、子どもを見守ってきました。大人も子どもも近所は顔なじみで、子を預かって一緒にご飯を食べさせることも、お互い様でやっていました。近所付き合い合いに、子育てがくっついていました。今は、近所の子を預かるようなことは少なくなりました。同質・同世代とのかかわりが中心になり、子

どもを取り巻く人間関係は親・先生・学校の友達・習い事での関係でほぼ全部ではないでしょうか。少子高齢、情報化、地域における人間関係の希薄化、社会や家庭のモラルの低下等々、関係すると考えられる事柄を挙げればキリがありません。

今も昔も、地域には様々な方がいます。大人、異年齢の子ども、高齢者や障害を持つ方など、多様な関わりを持つことは、自分を見つめ、生き方について考え、こころの成長の糧となる体験や人間関係を学べる機会になります。

福祉教育について



▲3年間パッケージ指定に取り組む
西地区社協 戸井 沢夫会長

地域課題の学びを支える

福祉教育が求められる社会的背景は、大きく分けて2点あります。

①子どもの主体的な学びや育ちを支えるため

学校教育において、2002年に「総合的な学習の時間」が創設され、福祉を素材とし

た学びや地域との連携で「豊かな人間性」「生きる力」を育む実践が評価されています。加えて2019年より「道徳」が教科外活動から教科へ格上げされ、関連の深いボランティア活動等へ児童・生徒の主体的参加が取り上げられました。

また、いじめや貧困、不登

地域を基盤とした福祉教育 「福祉教育パッケージ指定」

千葉県と千葉県社会福祉協議会が学校と地域をセットで指定し、福祉教育をすすめる「福祉教育パッケージ指定」という方策があり、本年度、芝山小学校と芝山中学校、近隣高等学校の富里高校、並びに西地区社会福祉協議会が指定されました。

現在「福祉教育推進連絡会議」を開催し、学校と地域で何ができるのか議論し、地域の実情に合わせた福祉教育の推進をしています。パッケージで指定されることにより、地域と学校が有機的につながり、地域課題を素材に子どもから大人まで共に学びあえる機会が設けられます。



校や虐待など学校教育だけの問題ではなく、家庭や地域と連携した子どもの教育が求められています。

②地域における福祉課題にふれるため

孤独・孤立、認知症、災害時の要援護者支援、日常生活での支え合い活動などは行政だけで

は十分に対応できず、日頃から地域における見守りや支え合いが重要視されています。

また生活困窮者や外国籍の方、ホームレスなどへの差別や偏見、無理解や無関心などの問題を、地域の中で共有し、住民のレベルで考えていく方

法論として福祉教育は期待されています。

福祉教育は共存共栄の精神形成

福祉教育の定義は様々ありますが、令和元年度福祉教育全体勉強会資料によると「憲法13条25条で規定された基本的人権を前提にして成り立つ平和と民主主義社会を作り上げるために、歴史的にも社会的にも疎外されてきた社会福祉問題を素材として学習することであり、それらの切り結びを通して社会福祉制度・活動へ関心と理解をすすめ、自らの人間形成をはかりつつ、社会福祉サービスを利用して人々を社会から、地域から疎外することなく、共に手をたずさえ豊かに生きていける力、社会福祉問題を解決できる実践力を身に付けることを目的に行われる意図的な活動」とあり、もう少し簡潔に書かれた文では「人間尊重の精神を基盤に一人ひとりが自分も他人も人間として共に生きる大切さを理解し、人間がよりよく生きる福祉社会を形成していく能力や態度を育てること」とあります。

福祉コミュニティの形成という目的

福祉教育の目的は地域での身近な住民どうしの支え合いや助け合いができる福祉コミュニティを形成することです。以下の3点の要素によって支えられています。

①ノーマライゼーションの形成

ノーマライゼーションとは高齢者や障害者などのハンディキャップがあっても普通に生活を営むことができ、かつ差別されない社会をつくるという基本理念であり、違いを認め合うこと、寛容である

こと、差別意識の自覚と自制をし、排除しないこと（ソーシャルインクルージョン）

②豊かな福祉文化の創造

福祉は、すべての人が生き生きと生きることをサポートするもの（最低生活保障＋人間らしさ・自分らしさ）

③福祉課題を解決する力を身につけること

「ともに生きる力」を形成すること

体験学習を重視

社会福祉問題を取り上げ、体験的に学ぶことを重視しています。

福祉教育とは子どもたちの共存共栄の精神を家庭・地域・学校で育むことであり、その方法として地域福祉パッケージ指定があります。期間は3年間。1年目の今年度は学校と地域が一緒にできることは何かを話し合い、そして今までやってきたことを共有し、方向性を模索しているところです。子どもたちへ残せるもの・見せられるものは何か。成果が見えるものでなくても、どこかで、地域に守られている感覚や地域に尽くす感覚を覚えてくれたらと、種をまいていきます。



誰もが自分らしい生活をおくるために

ノーマライゼーションという考え方

特集「家庭・地域・学校で育む 福祉教育について」でふれた「ノーマライゼーション」というキーワード。これは福祉において、根幹的な考え方で、直訳すると「正常化・平常化」となり、前述のとおり、老若男女はもろもろハンディキャップがあってもなくても、みんな当たり前前に生活を営むことができ、かつだれも差別されない社会をつくるというのが基本理念です。違いを認め合うこと、寛容であること、差別意識の自覚と自制をし、排除しないことで実現していくことができます。

この特集では「ノーマライゼーション」という考え方にについて紹介します。

福祉とはしあわせのこと

福祉ってなに？と問いかけられたら何と答えるでしょうか。車いすや高齢者、障害をもつ方を思い浮かべるでしょうか。なんとなく、福祉は社会的弱者を支えるしくみと捉えがちですね。そこで、文字の意味を考えてみます。熟語を分解して「福」「祉」これは両方とも幸せを意味する漢字です。「ふだんのくらしのしあわせ」と考えるとわかりやすいかもしれません。これからも、福祉は弱い人を支えるということだけではなく、誰にでも関係する話

なのだなとわかってきます。福祉は他人事ではなく自分事。そして、自分を中心軸にして「普段の暮らしの幸せ」を考えていくと、生活は自分でできることを一生懸命にやりつつ、自分ができないことを周りの誰かがやってくれているからこそ、なりたっていることに気づきます。

生活のしやすさは環境によって変わる

例えば、物理的な面では、日常生活に支障が出るレベルで視力が弱い場合、メガネが

◀ 違いを共有しよう



手に入るかどうかで事柄はまったく違います。そして人的な面では、骨折し松葉杖を使用している人は手をさしのかけてくれる人がいるかどうかで生活のしやすさに大きく関わるでしょう。「生活のしやすさ」は環境によって違います。そしてその環境とは国の違いから制度、サービス、モノ、人、あらゆる身の回りのことをさします。

できること・できないことは人それぞれ

全盲のAさんはリンゴの皮をむきます。結婚して子育てもして、家事もしているのでもリンゴの皮をむくのは当たり前の作業です。30年来その土地に住んでいるので、場所は熟知していて、近所のスーパーまでは杖がなくても行け

ます。店員さんと会話もします。ですが、初めてのところに行くときは、怖くて一歩も動けないそうです。

何ができて何ができないのか丁寧な知ることで、目の見えないAさんにとっての「できること」「できないこと」がわかります。

できること・できないこと

その人の生活環境が理解できると、自分と共有できる部分かわかるので、障害の捉え方が「かわいそう」ではなく「この人は何ができて、何ができないんだろう」という見方に変わってきます。「健康者」「障害者」という二分ではなくなります。

支えられていることに気づく

福祉に関する制度の考えの根っこには憲法25条基本的人権の尊重があります。「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」というものです。最低限度の生活保障とさらにもうひとつ、憲法13条幸福追求権。「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び



社会福祉法人芝山町社会福祉協議会 非常勤職員募集

職種：福祉作業所指導員職（1名）

【応募資格】 障害を持つ方への作業指導補助ができる方。

学歴を問わない。

②普通自動車免許

【雇用条件】

勤務場所：芝山町福祉作業所

（芝山町飯櫃126-1）

労働時間：1週につき30時間以内

賃金：時給930円、通勤手当：有

昇給・賞与・退職金：なし

休日：週2日・祝日

有給休暇：有（規程により付与）

社会保険：加入

募集受付

令和2年3月1日（日）～

令和2年3月17日（火）

試験内容

令和2年3月下旬

試験内容

書類審査、面接

問合せ

芝山町社会福祉協議会

Tel 78-0850 担当：菅井

いんふぉめーしょん

幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする「つまり「みんなの迷惑にならない範囲で、あなたはあなたの幸せを追求してください」ということです。

この考え方の下、私たちは家族、友人、地域、そして様々な制度により支えられています。同時に、自分も誰かを支える一要因になっているのです。

それが、ノーマライゼーションそのものだと言っても過言ではありません。

大切なのはお互いを理解し、たうでの「支えあい」です。親兄弟でも、配偶者でも、近所の友人でも、障害の有無も関係なく、できない部分を補い合うことで、自分の普段の暮らしの幸せを守り、自分以外の誰かの暮らしを守ることができます。違いはあるけれど、ともにより良く暮らす。というのがノーマライゼーションです。

ノーマライゼーションの理念発祥の地、デンマークのピザの話。グループで食事をしたときにピザを頼みました。日本では気が付いた人が6人なら6等分にする必要がありますよね。デンマーク人にとっては大変不思議だそうです。なぜかという「みんなその時で食べたい量が違うし、頼んだピザにも好き嫌いがあるので、自分の食べたい量を食べるためにピザカッターがあって、好きな人が食べたい分だけ自分で切る」そうです。価値観の違いが明確ですね。我々日本人だと、均等なのが正常・平常と意識する人が多いかもしれません。社会というのは全然違うものが関わりあって、一つの形を作っていくプロセスがあります。一つのピザでも切り方食べ方好き嫌い、均等じゃない正常・平常を見つけていきましょう。

みんなの力があつまって

赤い羽根共同募金

昨年10月1日から始まった令和元年度共同募金運動。お寄せいただいたご浄財のうち、一般募金は千葉県共同募金会へ送金し、歳末助け合い募金については、町内の援助が必要な方々などに「歳末お見舞金」としてお届けしました。お寄せいただいたみなさまの力は、地域のために活かされます。

募金総額 2,146,406円
一般募金 1,742,206円
歳末たすけあい募金 404,200円

人事

役職等の交代により、次の方々が12月17日から役員に、12月26日から評議員に就任しました。

役員

理事

理事

監事

評議員

岩澤

大槻 和男

瓜生 優子

山崎 真一

伊藤 清子・渡邊 美基

恵美子

役員

理事

理事

監事

評議員

山崎

鈴木 幸子

根本 典子

大槻 和男

瓜生 優子・吉岡 みよ子

山崎 真一



▶池田さんは一年かけてコツコツ作っています



ふくし 街角 コレクション

みなさんの身近にあった“チョットいい話”をお寄せいただきましてありがとうございました。これからも地域の中や家庭で見かけた・起こった“チョットいい話”をお聞かせください。

つどいを盛り上げる ふたり

町に7つある地区社会福祉協議会は各地区で毎年趣向を凝らし、高齢者や子どもを対象としたつどいを開催しています。

岩田幹一さん（宝馬）と池田ツネさん（浅川稲葉）はどちらも90歳代。参加者でありながら、岩田さんは完成させたジグソーパズルを額に入れ、題を付けたものを、池田さんは裁断したチラシ70枚を折り込んだ鍋敷きをつどいの参加者にプレゼントしました。

おふたりとも暇つぶしに始めたとおっしゃっていましたが、つどいに華を添えていました。



▶岩田さん(写真右)は直接手渡しでプレゼント

鬼はそと 菌もそと

2月2日、旧菱田小学校で菱田地区社協主催のサロンが開催されました。今回のテーマは「節分×感染症予防」です。町保健センターの寺島保健師さんをお招きし、感染症予防についてお話をいただきました。最初に自分流で手を洗い、洗い残しがわかる機材を使って、洗い残しを確認。洗い残しのない手洗い方法、そして感染症を日常的に防ぐ方法をお話いただきました。

その後、子どもたちは節分にちなんで新聞紙を丸めた豆と鬼のお面を作り、菌と鬼の描かれたボードに豆を投げ当て「鬼はそと、菌もそと、福はうち」と健康と幸せを笑いとともに願いました。



▲鬼も菌もみんなで退治



今回突撃したのは、原則毎週土曜開催のオープンハウスでした。このイベントは、実機のエンジン試運転や飛行の原理を機材で確認できる実験

芝山町にあるこの博物館は令和元年で30周年を迎えました。30年近くボランティアを続けている方もいらっしゃる、様々な分野・場面で活躍しています。

広報担当の私が突撃体験するこの企画。第18回目は日本初の航空をテーマにした博物館、航空科学博物館におじゃましました。

ぼくの突撃 ボランティア その18 体験記

航空科学博物館ボランティア

代表：小川 光久

主な活動：来場者への説明、イベント運営

型のツアーです。開始前に、格納庫から機材を搬出・設置します。使用する星形エンジン、ガスタービンエンジンやピストンエンジンなどは実際に機体に載っていたもので、設置する際には、オイルや燃料などの確認・点検をします。ツアーではエンジンの試運転の前に「鳥の翼はなぜ羽ばたくと前に進むのか」から段階的に機材での説明があります。私は原理の説明等はできないので実施中はツアー体験者と共に説明を聞いていました。ツアー後、機材を倉庫に搬入して活動終了。

原理を説明するための機材は基本的に実機のもので加工され、一つ一つボランティアや職員の独創性と遊び心が発揮されており、中には掃除機を移植しているものも。

説明するボランティアの技術と、一目でわかる工夫を施されたオリジナル加工の機材での実験に、知的好奇心がぐすぐぐられます。

実験の行方を熱心に見つめる子どもと、原理をもとに再現される現象を確認する大人。大空を愛するボランティアのロマンを感じました。

福祉センターで実施している「いきいきライフ調理実習教室」は、減塩・低カロリーメニューで、生活習慣病の予防と改善をねらいとしています。その秘伝のレシピを講師の栄養士がご紹介！



その 27

花シュウマイ

(1人分)エネルギー:229kcal たんぱく質:12.0g 脂質:10.0g 植物繊維:2.6g 塩分:0.6g 野菜量:100g

【作り方】

- ①干しいたけは、戻してみじん切りにする
(戻し汁は、スープに入れる。)
- ②レンコン、玉ねぎ、ショウガをみじん切りにする。
- ③シュウマイの皮は、細く切る。
- ④ボウルに豚ひき肉、酒を入れ混ぜ、しょうゆ、オイスターソース、砂糖、塩を入れ混ぜ、ごま油を入れ、よく混ぜ合わせる。
- ⑤玉ねぎ、干しいたけ、レンコンを入れ混ぜ、かたくり粉も加えて、混ぜる。
- ⑥12個の団子にし、シュウマイの皮をまぶす
- ⑦蒸気の上上がった蒸し器にざく切りした白菜とチンゲン菜を敷き、シュウマイを並べ、約15分蒸す。
- ⑧辛子しょうゆ、ポン酢を添える。



【材料】 (4人分/分量g)

豚ひき肉	200g	塩	少々
レンコン	50g	ごま油	小1
玉ねぎ	50g (1/4個)	かたくり粉	大1
干しいたけ	2枚 (4g)	シュウマイの皮	1袋
ショウガ	1片	白菜	300g
酒	大1	チンゲン菜	1株
しょうゆ	小1	ポン酢しょうゆ	適宜
オイスターソース	小1	辛子しょうゆ	適宜
砂糖	小1/2		

ワンポイント

つけあわせの野菜も
一気に一緒に蒸しますし、皮は包まず
に細切りにして絡めるので簡単です。
レンコンの菌ごたえも楽しめます。



図書室だより

やすらぎ☆ブック

best 3

本のムシが選ぶおススメ図書!

1位

「ライオンのおやつ」

小川 糸 (ポプラ社)



余命を告げられた雫は残りの日々を瀬戸内のホスピスで過ごすことに決めた。そこでは、日曜日に入居者がもう一度食べたい思い出のおやつをリクエストできる「おやつ時間」があった。読めばきっと毎日を大切にしたいくなる物語です。

2位

「熱源」

川越 宗一 (文藝春秋)



開拓者たちによって故郷を奪われたアイヌ、ヤマトネクフと苦役囚として樺太に送られたポーランド人プロニスワフは樺太で出会い、民族や思想を越えて自身が守りたいものを見出していく。時代に翻弄された主人公達の息遣いを感じる歴史大作です。

3位

「店長がバカすぎて」

早見 和真 (角川春樹事務所)



谷原京子は本が好きで28歳。武蔵野書店 吉祥寺本店で名前ばかりが勇ましい「非」敏腕店長、山本猛のもとで様々なトラブルに見舞われながらも、毎日忙しく働いている。「リアルすぎる」と現役書店員も絶賛するノンストップエンターテインメントです。

図書室からのお知らせ

蔵書点検のため2月25日(火)～3月6日(金)まで、図書室をお休みさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。
※期間中は、本の返却のみ受付いたします。



弁護士法律相談予定

福祉センターにおいて弁護士による無料相談を行っています。相談は1名(組)30分です。予定日は

3月24日(火)・4月28日(火)・5月26日(火)
です。利用希望の方は事前予約が必要です。

ふくし駆け込みテレホン・・・☎78-0526

ふくしに関するなんでも電話相談、随時受け付けています。平日9:00～17:00

ふくし行事予定

3月

1日 まごころの輪109号発行

3、19日 給食サービス

毎月上旬 ひとり暮らし高齢者誕生日祝い

毎月中旬 目の不自由な方へ声の広報発行

福祉センター休館日のお知らせ

毎週月曜日と祝日(日曜日に当る場合は開館します)

3月 2・9・16・20・23・30日

4月 16・13・20・27・29日

5月 4・5・6・7・11・18・25日

善意

ありがとうございます

医療法人社団徳風会高根病院

理事長 高根 宏様

42,000円

大木一男様(小池7)

10,005円

日蓮宗千葉県東部宗務所様

(多古町) 50,000円

匿名様 2,000円

平山よし子様(はにわ台南)

タオル多数

大槻和男様(辺田)

介護用品多数

鈴木京子様(境宮崎)

タオル多数

山崎眞一様(芝山)

タオル多数

齊藤由紀様(川津場)

給食用食材多数

山口和代様(はにわ台北)

マスク多数

お寄せいただいたご浄財

は、趣意に沿った地域の福祉の

ために有効に活用させていただきます。

編集後記

▼初詣では、穏やかな一年であってほしいと願ったが、想いもよらぬ感染症がまん延しつつある。自分達でできる予防に万全を期したい。

SY

▼1964年の東京五輪は中学生でした。2020年東京五輪は古希を迎えます。よくぞまあ、です。今年の夏を楽しみにしています。

井戸端

▼最近、テレビで俳句の番組「フレバト」をよく見えています。

▼季節の意味深い説明などとても感心して楽しんでいます。ポケ防止には最高。

K

▼猛威を振るうコロナウィルスはとも不安です。東京オリピックが無事に開催できることを今は祈りたいです。甘い梅の花の香りに今は癒されています。

海猿

▼暖冬と言われますが、寒いものは寒い。坊主頭が冷えて良く眠れなかったからニット帽を被って寝たら熟睡できました。お試しあれ。

南

▼モヤモヤ、イライラ、ためてはいけないものは、さっさとさようなら。こんな時こそ、鍋の焦げ付き落としや、断捨離を。

ハイジ